

2019年 年頭所感

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、全国の建築士会の皆様と建築士の皆様に謹んでお祝いの御挨拶を申し上げます。

昨年も大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震と日本の広範囲な地域で災害が発生し、被災された多くの方々々に心からのお見舞いを申し上げます。

また、それらの被害に緊急対応されている建築士の皆様に敬意を表します。

昨年は、全国大会がさいたま市で開催され、埼玉建築士会およびそれを支えた関東甲信越の建築士会の努力で有意義で楽しい大会となりました。関係の皆様々に心より感謝申し上げます。

式典では、恒例により国土交通大臣、開催地の埼玉県知事、埼玉市長より励ましや歓迎のお言葉をいただき、地域貢献・社会貢献を使命としています建築士として身の引き締まる思いをいたしました。また初めてのことで林野庁長官 牧本幸司様が来賓として出席されお祝辞をいただきました。全国で中大規模木造建築を推進しております建築士会と建築士会連合会です。大変ありがたいことと感謝しています。私は、長官がお見え下さったのは埼玉県の新しい活動があったためだと推察しています。埼玉建築士会の江口満志会長と埼玉県木材協会の坂東正一郎会長の連携によって中大規模木造建築を推進する協議会が活動し始め、5カ月間で20コマ、正味30時間の研修授業が実施されました。川上の森林組合、木材業、製材業、川中の建築設計事務所(意匠・構造)、川下のプレカット業、工務店、ゼネコン等地域の関係者が一堂に集まり、山の様子、木質に関する事、流通と流通材に関する事、意匠設計、構造設計、耐火設計に関する事、さらに木材の品質管理、木材調達、工事工程、木造建築の耐久性に関する事、竣工後の維持管理に関する事など、木造建築全般にわたる研修をそれぞれの専門家から講習を受けました。20回の授業

で得られる知識と同時に、関連する異業種の人たちが毎回顔を合わせるのですから、自然に顔見知りとなり会話も生まれ、他人がどんな想いでどんな仕事をしているか互いに知り合うきっかけができました。分業が行き過ぎ、関連業種に関心が薄くなっている現代の地域社会で、必要なつながりを補う貴重な機会になったと思います。そうした意味で中大規模の木造建築が地域の力でうまくできるようになることは地域の社会資本の再編成となり、ある意味で地域社会の再構築につながります。

一昨年の京都大会の「山とまちと木造建築」にも結びついた活動とも言えます。建築士会連合会はこのような積極的な普及活動を常に支援いたします。

一昨年からの建築士会の大きな活動として、環境部会が担当して省エネルギーと地域住宅計画に関する実態調査がありました。そのアンケートに答えて下さった多くの建築士事務所の方々には詳しい調査に御協力いただき誠にありがとうございました。発注元である国土交通省では調査データを分析考察され、省エネルギーや環境および地域住宅の推進にかかわる住宅行政に活かすべく努力されており、間もなく成果の公表があると思っています。

また建築設計報酬に関する、いわゆる大臣告示15号の見直しに関する活動も国土交通省の各団体からの意見の集約と実態調査検討が終わり、パブリックコメントの収集もされ、決定の最終段階に入っています。これに関しても会員設計事務所の設計業務量調査に御協力いただきありがとうございます。今回のような業務量の見直しは今後も継続していかねばなりません。各事務所では、普段からの設計業務量把握に努めておいて下さることをお願いいたします。

国土交通省と深く関係する活動に建築士資格試験の変更に関する建築士法改正の活動があります。これは議員立法による改正を自民党建築設計議員連盟にお願いすることから始まり、衆参の各政党に理解をいただく活動にエネルギーを注ぎ

公益社団法人

日本建築士会連合会 会長

三井所清典

まちづくり専攻建築士
統括設計専攻建築士



ました。これは告示15号の改正活動と同じく、(一社)日本建築士事務所協会連合会と(公社)日本建築家協会および私たち(公社)日本建築士会連合会の3団体が連携して活動しているものです。

建築士会連合会は各建築士会と連携して各種の建築士活動の領域拡大に努めています。まちづくり活動は大勢の建築士が参加するようになり、昨年は景観、防災、歴史、街なか(空き家)、福祉の5部会がさいたま大会でセッションを開き、直接の情報交流が行われ、盛り上がりを見せていました。

活動も具体的になってきていますが、連合会としてはヘリテージマネージャー(HM)を歴史まちづくり部会の活動の一つと位置付けて、推進していきたいと思っています。

最後に、連合会の国際委員会が担当する日本、韓国、中国の3カ国の建築士登録団体の国際交流を紹介します。昨年は、日本が担当する年にあたり、大阪で開催されましたので、大阪府建築士会と近畿建築士会協議会および茨木市の協力を得て新しい試みに挑戦しました。京都女子大学や立命館大学の学生も参加した茨木市の中心市街地の計画に関するワークショップやサミット会議など、近い将来の国際交流を意識した活動でした。中国と韓国の代表団からも好評で高く評価されたようです。

建築士会連合会は建築士の皆様の地域貢献や社会貢献の活動領域が拡大するよう、さまざま努めていく所存です。

建築士会の皆様には建築士や一般の方々など仲間を募って、一層の活発な貢献活動に励まれますことを祈念いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。

今年の全国大会は北海道函館市で開催されます。各地での地域貢献活動の成果を持ち寄って、貴重な情報交換を行い、これからの仲間づくりをされることを心より期待申し上げます。